

令和 2 年 6 月 28 日現在

機関番号：32406

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17H02247

研究課題名(和文) 新興アジア諸国のBPO産業の成長とジェンダー インド・フィリピン・中国の国際比較

研究課題名(英文) IT-BPO International Division of Labor and Gender in Emerging Asia--India, Philippines and China

研究代表者

堀 芳枝 (HORI, Yoshie)

獨協大学・外国語学部・教授

研究者番号：30386792

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 7,200,000円

研究成果の概要(和文)：2008年のグローバル金融危機以後、世界市場はアジアの新興国が活況の様相を見せている。その要因として、IT技術と現地の安い労働力を利用したコールセンターやデータ入力からIT開発まで、IT-BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)と呼ばれる企業向けのサービス産業の業務委託が行われているからである。そこで、本研究はインド、中国、フィリピンを中心にその実態を女性の雇用と労働の観点から考察する。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで経済成長には製造業の発展が欠かせないと考えられてきたが、インドやフィリピンなどは製造業の成長を経ずして情報サービス産業の業務委託によって大きく成長をしている。この研究によって開発経済においては新しい発展のパターンの現状分析を提供できた。また、製造業の国際分業(1970年代)、ケアの新国際分業(1980年代)につづく新しい国際分業の到来に女性が密接にかかわっていることを実証的に示すことができた。

研究成果の概要(英文)：After the global financial crisis, the world economy shifted to the Asian market with the development of It technology. Business Process Outsourcing fields such as data entry and accounting, research and planning and call centers need women labor. Women seem to easily work in this fields. Therefore we tried BPO gender analysis in this industry.

So, We conducted field survey in India, China, Philippines, Thailand, Singapore and Okinawa for several times. We noticed that women's employment opportunities have increased with the growth of BPO industry. Specially the number of Filipina who do not need to go abroad is increasing. More, we could observe women's social advancement too. But in other countries, women are still placed in unskilled lower wages sector.

研究分野：国際関係論 東南アジア地域研究

キーワード：BPO 新興アジア ジェンダー フィリピン インド 中国

## 1. 研究開始当初の背景

2008年の世界的な金融危機以後、世界のオフショア BPO 市場は 2490 億ドル(2006年)から 4500 億ドル(2010年)と年平均 15.9%で急成長した。先進国の企業が人件費を節約するために、インド、中国、そしてフィリピンに労働集約的なコールセンターやデータ入力から、付加価値の高い IT 開発まで国境を越えて業務委託を行っているからである。そして、現地では女性が大量に雇用されている。申請者はフィリピンの事前調査を通して、多国籍企業の BPO 事業展開がアジアの経済成長を促すだけでなく、女性労働の在り方、ジェンダー規範の変容など、経済社会の変容をもたらしていることを認識した。また、日本経済にも影響を与える可能性を考えた。アジアの BPO の成長は、新たなグローバル経済の潮流をつくるものである。そこで、本研究はフィリピン、インド、中国の BPO の国際資本移転の動向と多国籍企業、女性の労働実態についてのジェンダー分析をおこなうこととした。そして、これら 3 か国の国際比較を通して、アジアにおけるサービス経済の発展と女性の労働力の再編成について、中範囲の理論構築を目指した。この研究は、グローバル経済の最先端の動向の解明につながると考えた。

## 2. 研究の目的

ジェンダー研究では、アジア NIES や中国が経済成長した理由を、安価な労働力として女性が大量に動員されたことに着目して、M.ミースらが「新国際分業」論をジェンダーの観点から発展させた。さらに、フィリピン女性らが介護士や家事労働者として先進国に移動する現象を「ケアの新国際分業」として分析した。本研究の目的は、2000年代に入ってフィリピン、インド、中国で「サービス部門の国際分業」として展開し始めているビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO: Business Process Outsourcing)の国際資本移転の動向と多国籍企業の組織形態、そして、女性の労働実態と社会変容についての国際比較をおこなう。そして、最終的には、BPO の新国際分業とジェンダーについて統括モデルを検討し、新興アジアのサービス部門の新国際分業論を構築することにあった。

## 3. 研究の方法

本研究はフィリピン、インド、中国の BPO の国際資本移転の動向と、そこで働く女性の労働実態について、ジェンダー分析をおこなった。文献調査、現地企業訪問、現地の労働者へのインタビューを通じて以下の 3 点を明らかにした。(1)文献調査によって中国、インド、フィリピンの経済・社会の動向分析を行った。3 か国のマクロ経済分析、直接投資、ジェンダー開発指数や人間開発指数を用いた社会分析もおこなった。また、政府の経済政策の変遷と BPO を誘致するための制度や行政機関などを分析して 3 か国を比較検討し、どのような条件がサービス部門の新国際分業を実現しうるのかを考察した。(2)文献資料と現地企業調査によって国際資本移転の動向と企業分析を行う。現地企業調査では、企業の組織形態、女性の労働過程、技術移転、労働組合などについて調査した。そして、企業の社会的性格を考察して 3 か国の国際比較をおこなった。(3)BPO で働く女性労働者へのインタビューを通して、女性の社会進出と社会へのインパクトを考察した。インタビューでは現在の労働状況、これまでの職歴の変遷と今後のキャリア形成の見通しを聞き取る。また、世帯構成や世帯収入と支出なども質問した。

研究代表者の堀はフィリピンとタイ、そして中国の大連、足立は中国の大連、長田はインドの現地調査を行った。途中足立が体調を崩したこともあり、中国の研究をしている大橋を加えた。また、そのプロセスを通して、シンガポールが BPO をアウトソーシングしている側であることを発見し、落合に研究分担者として加わってもらい、シンガポールの分析を行った。また、日本ではコールセンターが残存しているのが沖縄と北海道であることをつかみ、沖縄についての専門家である小松に研究分担者として加わってもらった。小松はコールセンターを調査しているうちに、沖縄の地域振興政策が密接に関係していることをつかみ、沖縄の地域振興とコールセンターについて調査をおこなった。

## 4. 研究成果

以上、インド、中国、フィリピンの現地調査から始まり、シンガポール、タイ、沖縄などの BPO の実態についても研究分担者を加えて調査を進めるうちに、BPO といっても様々な職種やアウトソーシングをする側、受ける側の事情があることがわかり、BPO は多様かつ複雑な実態を呈していることがわかった。そして、今回の科研では以下のような結論を導くことができた。

(1)海外への委託先は言語によって分けられる。英語圏の企業はインド、フィリピンが委託先であるが、日系企業は日本語なので、中国の大連に特化している。これはインドやフィリピンはイギリスやアメリカなどの旧植民地であったこと、日本もまた旧満州の地域では戦後も日本語の教育が行われていたという事情から、大連や中国の東北地方に日本語に堪能な労働力が豊富であることがあった。一方、1970年代にアジア NIES として急成長を遂げたシンガポールでは、BPO をアウトソースする側として、マレーシアやフィリピンにアウトソーシングしている。タ

イは製造業は強いが、タイ語であるため BPO ではアドバンテージがない。そのため、タイで暮らす日本人や西洋人を現地採用として質の高い労働者を確保し、人件費のコストカットを行っている企業が存在することがわかった。

(2) そのため、BPO の業務内容の範囲は広く、どこの国が何を請け負うかによって、IT-BPO 産業内での「階層化」が進展していることがわかった。たとえば、インドはアメリカから帰国した IT 開発者たちが、インドで IT 事業を立ち上げていることがわかった。IT 開発に特化することは、非常に付加価値が高い分野をインドの高学歴の男性たちが握っていることを意味する。したがって、データ入力などの周辺的な業務は、女性たちが安い人件費でになっていることが分かった。その意味で、インドでは BPO 産業が発展したとしても、その成長の果実が女性に落ちるということは、なかなか難しいといえよう。

中国も IT 開発、AI などの最先端産業において、世界でもトップに立とうとしており、一帯一路の政策は単にインフラ整備だけではなく、IT 部門においても周辺国に影響力を与えようとしていることがわかった。社会主義国の中国とはいえ、BPO 企業のトップに女性が就任していることは、ほとんど見られなかった。

一方、インドを抜いて世界一のコールセンターの拠点となったフィリピンでは、女性の BPO 産業への参加率も高いだけでなく、経営者として女性が活躍していることがわかった。その意味で、BPO が女性の社会進出を本当に後押ししているのはフィリピンだけであると言ってよいだろう。その背景には、サービス産業だから男女の区別なく働けるというだけでなく、フィリピンの文化やジェンダー規範が以前から、ジェンダーギャップが大きいことが要因として働いていることは否めないだろう。

シンガポールは東南アジアの金融センターとして成長しつつあることから、先にも述べたように、アジアの中では、すでにアウトソーシングする側としての位置づけが確認できた。また、沖縄は地域振興政策の一環としてコールセンターの誘致が行われ、そこにシングルマザーらもふくめた女性たちが、多く働いていることがわかった。

(3) とはいえ、BPO の成長に女性の労働力は欠かせない。フィリピンを筆頭に、中国、タイ、インド、そして沖縄では女性たちが多く働いていることが、現地調査を通して確認できた。しかし、新中間層の成長と消費、都市化の実態、さらには政治への影響についての分析が新たな課題として浮上した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 長田華子	4. 巻 336
2. 論文標題 作り手が報われる社会を目指して－安価な衣服の生産拠点 Bangladesh の労働実態から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 連合レポート	6. 最初と最後の頁 4 8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 落合絵美	4. 巻 3
2. 論文標題 経済成長と家族のはざまで生きる女性 - シンガポールにおける高齢者福祉政策のジェンダー分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済社会とジェンダー	6. 最初と最後の頁 121 135
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 落合絵美	4. 巻 781
2. 論文標題 シンガポールにおける女性の老後 年金制度が内包するジェンダー・インパクト	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 We Learn(月刊ウィラーン)	6. 最初と最後の頁 8 9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 落合絵美	4. 巻 16
2. 論文標題 変化する社会と男女共同参画センターの役割	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ウィズあい大垣	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 落合絵美	4. 巻 63
2. 論文標題 【書評】韓国「周辺部」労働者の利害代表－女性の「独自組織」と社会的連携を中心に－	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 女性労働研究	6. 最初と最後の頁 196 199
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大橋史恵	4. 巻 68
2. 論文標題 『逃げ恥』考 - - 再生産労働は『夫婦を超えてゆけ』るか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 女性労働研究	6. 最初と最後の頁 198 205
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堀芳枝	4. 巻 724
2. 論文標題 【書評】貧困の社会構造分析－なぜフィリピンは貧困を克服できないのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大原社会問題研究所雑誌	6. 最初と最後の頁 74 - 78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 足立真理子	4. 巻 20
2. 論文標題 序 新自由主義と社会的再生産のジェンダー分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ジェンダー研究	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 足立真理子	4. 巻 143
2. 論文標題 資本主義とジェンダー 中川理論とマルクス主義フェミニズム	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 経済科学通信	6. 最初と最後の頁 1 - 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 702
2. 論文標題 世界の縫製工場バングラディッシュで何が起きているか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大原社会問題研究所雑誌	6. 最初と最後の頁 19 - 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 77
2. 論文標題 インド縫製産業の中の西ベンガル州コルタカー現地調査から見えてきた現状と課題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 インドの産業発展と日系企業	6. 最初と最後の頁 379 - 407
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計7件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 5件)

1. 発表者名 Hanako NAGATA
2. 発表標題 Bangladesh Ready-Made Garment Industry: Female Worker's Skill, Wage and Household/Householding- The Case of a Japanese multinational Comapny's international transfer
3. 学会等名 Edinburgh-Kobe Dialogue on the Economic Development in South Asisa, 4th, Eriot-Watt University (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hanako NAGATA
2. 発表標題 Bangladeshi Ready Made Garment Industry and Female Workers: Overview from the birth of the industry to the Rana Plaza Disaster
3. 学会等名 by PB Anand at the University of Bradford and prof Chella Rajan at the IIT Madras, Chennai, India 26th (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大橋史恵
2. 発表標題 『逃げ恥』考 - 再生産労働は『夫婦を超えてゆけ』るか
3. 学会等名 女性労働問題研究会読者会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀芳枝
2. 発表標題 フィリピンにおけるビジネス・プロセス・アウトソーシング (BPO) の成長とジェンダー
3. 学会等名 日本国際政治学会 ジェンダー分科会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 足立真理子
2. 発表標題 東アジア特別セッション ディスカッション
3. 学会等名 26th International Association for Feminist Economics Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 震災以降の東北縫製産業における女性の就労とエンパワーメント 岩手県東北地域を事例に
3. 学会等名 第二回東アジア日本研究者協議会国際学術大会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 Economic Growth, Industrialization and Gender in Bangladesh
3. 学会等名 26th International Association for Feminist Economics Annual Conference（国際学会）
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 長田華子「日本製の洋服づくりを支える人々 縫製工場における外国人労働者」駒井 洋、津崎 克彦	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 304
3. 書名 産業構造の変化と外国人労働者	

1. 著者名 「「寄る辺のなさ」を越える 中国の都市社会に生きる農村女性たち」安藤 丈将、川端 浩平、響田 竜蔵	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 197
3. 書名 サイレント・マジョリティとは誰か : フィールドから学ぶ地域社会学	

〔産業財産権〕



〔その他〕

基盤研究(B)「新興アジア諸国のBPO産業の成長とジェンダー」についてはこちら  
<https://yoshie-hori.jimdo.com/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	足立 眞理子  (Adachi Mariko)  (10347479)	お茶の水女子大学・  ・名誉教授   (12611)	
研究分担者	大橋 史恵  (Ohashi Fumie)  (10570971)	お茶の水女子大学・ジェンダー研究所・准教授   (12611)	
研究分担者	長田 華子  (Nagata Hanako)  (20632285)	茨城大学・人文社会科学部・准教授   (12101)	
研究分担者	落合 絵美  (Ochiai Emi)  (60827468)	岐阜大学・大学本部・特任助教   (13701)	
研究分担者	小松 寛  (Komatsu Hiroshi)  (50546314)	千葉大学・大学院社会科学研究院・特任研究員   (12501)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	高岡 真紀子 (Takaoka Makiko)		
研究協力者	樂 鳳茂 (Luan Fengmao)		